

R3年度 グローバル 中間報告会



丸高グローバル通信 第33号

地域のみなさんへ
2021年8月30日発行
丸高 HP



こんにちは！第33号は7月19日（月）に開催された、グローバル中間報告会の様子をお伝えします。報告会の第1部では、第一体育館にて全体会を開催し、地域協働・海外協働活動成果報告や3年生の代表生徒による地域活性化プロジェクト活動報告を行いました。第2部では、2年生がポスターセッションを、1、3年生はラウンドテーブルを通して探究活動に関して意見交換を行いました。ご来賓の方々のアドバイスを参考にして、今後の探究活動をより良いものにしていきたいと思います。

活動成果報告

3年 探究活動成果報告「地域活性化プロジェクト 口頭発表」

2年 坂井 美穂さん（坂井中出身）

テーマ「昆虫を使った製品～昆虫で健康に～」



〈内容〉高タンパク質な蚕のさなぎを粉末にし、クッキーや白玉団子を試作。昆虫食が広まることで食料不足が改善されることを提言。



この活動では、自ら積極的に行動し実行していくことの難しさや楽しさを学ぶことができました。また、多くの人とも出会うことができ、進路の視野を広げることができました。

3年 山口 悠太さん（丸岡南中出身）

テーマ「食べ尽くそう丸岡の街～お得になく食品ロス～」



〈内容〉食品ロスの軽減のため、地元商店で品物を買ってもらえるスタンプを集めると割引券がもらえる取組を考案し、3店舗での実施が実現。



最初は難しいと思っていたので、達成できた時は嬉しかったです。沢山の方に協力して頂いたので、その方々への恩返しの意味も込めこの活動がよいものになるよう、今後も頑張りたいです。

小中高連携による地域協働活動報告「丸岡城サミット」



2年 坂井 悠太さん（春江中出身）

「丸岡城を中心とした町づくり」に小学生中学生と丸高生がどのように取り組むべきかについて発表させていただきました。地域の将来を担っていく当事者としての自覚を持って、取り組んでいきたいと思っています。



学校設定科目による地域協働・海外協働活動報告

グローバルスタディ 社会

3年 野口 陽之助さん（丸岡中出身）



社会科の視点からSDGsを学習し、世界の状況を知ることができてとても興味を持って学習しています。新しいことに挑戦しながら、これからの社会のあり方について学んでいきたいと思っています。



グローバルスタディ 英語

2年 田中 智史さん（丸岡中出身）



台湾の福誠高校との交流では、観光地やポップカルチャーなどを紹介し英語で意見を伝える難しさを学ぶことができました。丸岡高校は海外とも交流できる特色のある学校です。



1年ポスター制作

「丸岡の宝」を見つけるフィールドワークを行い、ポスター制作を行いました。また全校生徒による投票も実施しました。



作品の部

〈最優秀賞〉1年 新田 礼那さん（大明寺中出身）

丸岡高校から徒歩30分くらいの場所にある豊原滝へ行きました。山道は意外ときつかったですが、色々な花や虫などの自然に出会えました。坂井市はたくさんきれいな場所があるので見に行ってみてください。



写真の部

〈最優秀賞〉1年 荒木 均雅さん（丸岡中出身）

丸岡城周辺では、どんな写真が撮れるのだろうと思いついて、周辺をメインに活動をしていきました。噴水と青空を合わせた写真はきれいな感じになりました。きれいに撮れてうれしかったです。



(右) 〇〇〇さんの作品



2年ポスターセッション



「坂井地区の地方創生のために必要な取り組み」について、自分たちはどう関わっていききたいか、SDGsの視点で考えたことを発表しました。

2年 〇〇〇 〇〇中出身



ネット上で調べた問題と解決策をそのまま伝えるのではなく、自分たちなりの解決策を具体的に提案する必要があると感じました。また、聞き手に伝わりやすくするにはどうすればいいか考えて話せるようにしていきたいです。

2年 〇〇〇 〇〇中出身



それぞれ違う視点や考えがあって、詳しく説明してくれてとても面白い発表だった。このことから、今からCF（総合的な探究の時間）の内容を深めていきたい。

2年 〇〇〇 〇〇中出身



自分達と課題が似ていても考え方は全く反対だったりして参考になりました。自分達の発表では、規模が大きすぎると言われたので、身近にできるものを探そうと思いました。

3年代表選考までの流れ

3年50チーム

↓
講座代表

10チーム決定
(校内報告会で発表)

↓
学校代表

2チーム決定
(中間報告会で発表)

進行・運営： 「生徒による」 「生徒のための」 報告会を実施

全校生徒参加型

+

- ①地域の方々
- ②学校関係者
- ③他校の生徒

1, 3年ラウンドテーブル



3年生から1年生へ、これまでの探究活動について紹介したり、お互いに質問し合ったりし、学びを深めました。



(上) 報告会の様子は新聞にも掲載されました

ご協力くださった関係者の方々、誠にありがとうございました。

◎地域の方々からのご意見、高校生とやってみたいこと等ございましたら、丸岡高校まで是非お声をかけをお願いします。 取0776-66-0160 (丸岡高校グローバル事務局)

3年探究活動例① キzzaニアとは？

地域でリアルな職業体験を
～丸岡キzzaニア～

子どもたちが、楽しみながら社会の仕組みを学べたり体験できる「子供が主役の街」です。子どもたちが大人のようにいろいろな仕事やサービスを体験することができます。

地域の商店街でリアルな
職業体験を子どもたちに
もらい地域活性化!



関連するSDGs

4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを



3年探究活動例③

課題の設定

- 伝統工芸品である『越前漆器』を若い世代や、海外の人に広める
- 使いやすい商品を作る

取り組み内容

2月25日 新しいデザインの漆器を作るため『土器漆器』の土師直彦さんに電話

共同パートナーに就任

予算の都合を話したところ
作ってくれることに

取り組み内容

5月22日 TSUGI訪問
漆の里会館訪問
・TSUGIに以前来訪者に発表
デザインを見せてアドバイスをもらう
・漆の里会館を見学、越前漆器について学ぶ

考えた案①

『醤油さら』
カニの形が確んでいて、醤油を垂らすとカニの形が現れる。

取り組み内容

6月30日 デザイン確定
・デザインは醤油皿に決定!

NEXT 生地制作

取り組み内容

7月7日 生地完成
・最初のデザイン案では中央のカニのイラストの部分に切ませる案だったが、越前漆器の漆の部分を上手に塗ることでカニの部分に凸くさせるデザインとなった

関連するSDGsについて

9

産業と技術革新の基盤をつくろう

→新しい技術の習得することで、技術の向上と技術の拡大を目指す。

12

持続可能な消費

→ラッドファッションや商品の企画を推進し、廃棄と資源の削減を図っていく

コンフィデンスマン

チーム設定の理由



新案の案②

『ウィングラス』
氷玉柄のウィングラスで2つで1セットとし、水玉と他の部分が対になるように色を塗り、ペアカップになるようにする

課題（取り組み）の再々設定

- ～スタンプの貯め方～
一定金額以上購入でGET → 見切り品を含めて一定金額以上購入でGET
- ～スタンプと交換できるもの～
見切り品と交換 → 50円引券と交換

食べ尽くそう丸岡の街～お得になくす食品ロス～

内容 アプリオスタンプ台紙にスタンプ5つ貯めると協力店のもので50円引!

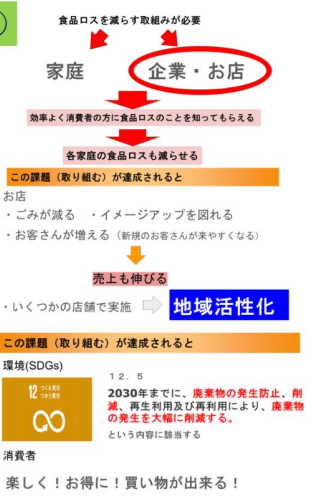
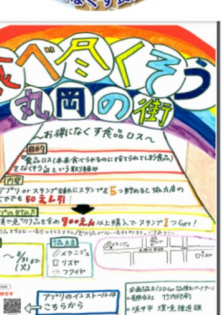
スタンプの貯め方 各店舗で見切り品を含め700円以上購入でスタンプ1つGET!

期間 7月26日(月)～8月31日(火)まで

協力店 メランジ、リスキー、フクイセイ



3年探究活動例②



課題の設定

福井県産のものを使って
お菓子を生産・販売し福井県の魅力を発信しよう!

課題設定の理由

福井県産の食品をアピールし
福井県の知名度アップをめざす

取り組みの内容

5月13日
株式会社大妻倶楽部さんの大妻を使って商品開発することを考え、高校生で案を考えたari意見を出したりして携わることできますか?

ぜひ大妻を使った商品を考案してください
ご協力させていただきます

3年探究活動例④

お菓子が福井の魅力を発信

7月11日 麦茶のゼリーをつくりました!



関連するSDGs

理由:
たくさんの方が福井の魅力を知ること、知名度がアップし、人が集まってくるといったから

持続可能な取り組みにするために

- 自分で麦茶のゼリーのレシピを発信していく
方法: インスタグラム
大妻倶楽部さんのホームページにのせてもらうなど
- 株式会社大妻倶楽部さんに届いたものを食べてもらい、販売をお願いする



成果

当初の目標設定

「地域や社会で起こっている出来事に関心がある」と答えた生徒
→R1…62.2%／R2…68.3%／
R3…68.8%

県内での進学・就職率
H30までの5年間平均54%
→R1…47%／R2…47%

海外の高校生などとの実際、またはオンラインでの交流回数
→R1…8人(留学生受入)
／R2…4回／R3…12回

外部人材の参画者数
→R1…58人／R2…69人
／R3…

成果の発表回数
→R1…7回／R2…11回
／R3…

新しいカリキュラム開発のための検討会の回数
→R1…4回／R2…4回／
R3…7回

地域と協働した活動回数
→R1…7回／R2…12回
／R3…50回以上(3年M-PRO含む)

「私に関わることで、社会状況が変えられるかもしれない」と考える生徒の割合
→R1…47.0%／R2…59.1%／
R3…59.4%

令和3年度「高校魅力化システム」結果分析より 高校に対する満足度 (R1)62.2%→(R2)76.3%→(R3)83.4%

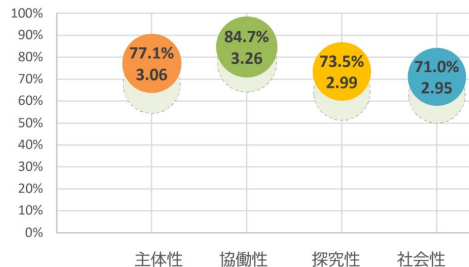
①学習活動（明示的なカリキュラム）

■今回の結果



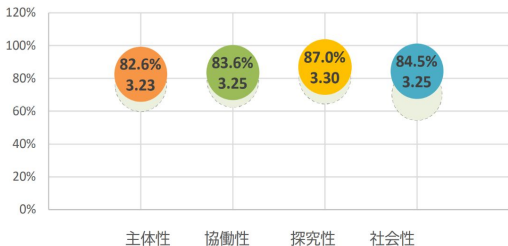
③生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）

■今回の結果



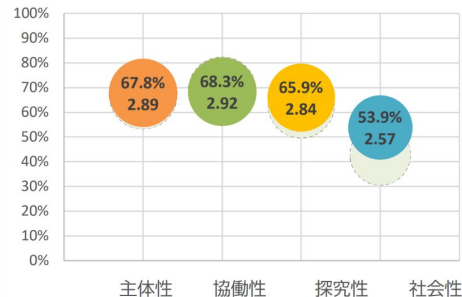
②学習環境（学びの土壌：非明示的なカリキュラム）

■今回の結果



④生徒の行動実績（資質・能力の発揮）

■今回の結果



4領域4観点全て
他地域 ≤ 本校

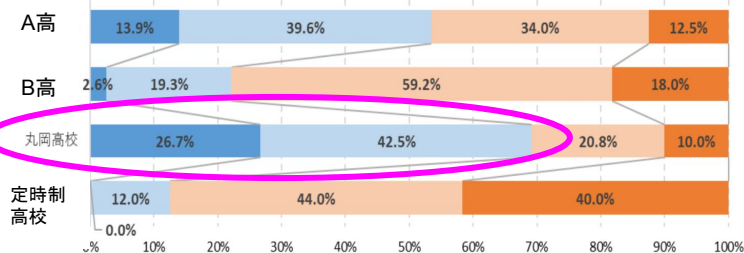
R2 将来の居住地・まちづくり に関するアンケート集計結果

令和3年11月 坂井市総合政策部企画政策

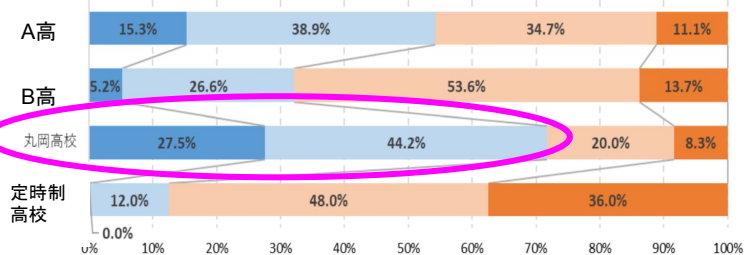
地域課題の

解決方法を考えている **69.2%**
解決に関わりたい **71.7%**

③地域課題の解決方法について考えている。



④地域課題の解決に関わりたいと感じる



課題

グローバル事業での
成果を生かす

学校設定教科「みらい」
カリキュラム開発

コンソーシアム
継続的な協働関係の構築

新コースを軌道に乗せる
「みらい共創コース」
「スポーツ探究コース」

丸岡高校に新コース誕生

豊富な経験で未来に生きる力をつかめ！！



普通科 みらい共創コース

多様な人々との豊富な経験
地域や世界とつながる探究活動
協働して今と未来を創造する人材の育成

普通科 スポーツ探究コース

スポーツを
強化する・科学する
スポーツで
探究する・マネジメントする

- ★福井県立大学との連携と進学強化
 - ・大学を訪問！早期の進路意識の高揚と適切な進路選択
 - ・大学生との協働探究活動や、大学の先生による探究活動のアドバイス
- ★未来に役立つ学びを自ら選択する教科「みらい」
 - ・市役所や企業でのインターンシップ
 - ・大学のオープンキャンパスツアー等
- ★ローカル、グローバルなテーマを海外生徒等と共に探究
- ★地域イベントの企画・運営を通した実践的な学び
- ★北海道や長野など国内の連携高校への短期留学（連携高校を準備中）
- ★海外研修（タイ、台湾）

- ★充実した設備、機器
 - ・最新の機器を用いてスポーツを科学的に分析、探究
- ★専門家から直接学ぶ機会の充実
 - ・全国で例の少ないプロチームや実業団と連携した経営の学び
 - ・全国から講師招聘
- ★福井医療大学との連携と進学強化
 - ・専門の先生の講義受講
 - ・病院見学や実習
- ★「スポーツ、健康」を通した地域貢献や町おこし
- ★進路につながる確かな学力を習得

想定する進路
想定する将来

- ・4年制大学（多様な学部学科）・公務員・地元企業就職
- ・公務員（地方行政）・各種企業・教育関係・国際関係
- ・起業家

想定する進路
想定する将来

- ・4年制大学（体育系、医療看護系、教育系、経営系他）
- ・専門学校（主に医療看護系）・公務員・地元企業就職
- ・スポーツ関係（インストラクター、トレーナー、プロや実業団選手、スポーツ関連企業、メンタルトレーナー、栄養士）
- ・医療看護関係（理学療法士、作業療法士、看護師）
- ・教育関係（教諭、養護教諭）

地域に
貢献



文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」（H31～R3）で培ったカリキュラムを進化

福井の
未来を
牽引



きめ細かい指導
教員1人当たりの生徒は11人
少人数授業と個人指導の充実

変化する
社会に
対応



学校の外へ出て学ぶ！
バスや自転車、徒歩で地域探究活動へ

2つのコースに
共通する魅力



現在、県外出身生徒が22人も！
R5年度からは「地域みらい留学」制度で
全国募集開始 → 全国に友達ができるよ！



様々な人々と関わる機会が豊富
・大学生との協働・地域や企業の方々の協力・海外の高校生との授業
・県内外の高校生との交流活動・大人に混じって町づくりを実践



英語力アップ
・台湾福誠高級中学との姉妹提携
・福井大学、県立大学の留学生との交流

育てたい人材



多くの挑戦機会、発表機会 企画力、発信力、交渉力、プレゼン力がUP



制服が新しくなります
みなさんは一期生！

R5年度～
「地域みらい留
学」
魅力を全国的
に発信

地域に愛され
地域とともに発
展する学校とし
て